



京都府立城陽支援学校 <http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/>

「You can do it」 「Yes, we can」

猛暑も終わり、過ごしやすい季節になりました。夏の集中豪雨では、山城地域でも土砂崩れや浸水などの被害がありました。被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

さて、病弱教育部は、2学期になり、小学部4名、中学部2名の転入がありました。体育大会や学習発表会などの行事を迎え、児童生徒達は、それぞれ先生、保護者、病院の関係者の励ましをうけて、自分の最高の姿を見せようと日々頑張っています。8月27日の始業式には、「You can do it」「Yes, we can」（「きみたちならできる。」）（「そうだ。ぼくらはできる。」）という合い言葉を見学児童生徒と言い合いました。「一人ではできなくても、先生や仲間等とみんなで励まし合えばできる。」という意味を込めて、お守りのカードを作り、一人ひとりに手渡しました。その通りに、9月の体育大会では、自分の精一杯の姿を発揮してくれました。見学児童生徒一人ひとりが、「少ししんどいことに対して、仲間と共に挑戦して、成功して自信を持つ」経験を積めたと思っています。11月2日、3日には、学習発表会もあり、さらに自信をつけるための取組を進めていきます。

最後になりましたが、休日にもかかわらず、9月29日の体育大会を見学していただいた教育委員会、地域の小中学校の先生方等にはお礼を申し上げます。今後とも、御支援と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

病弱教育部総括主事 牛田 聖一郎

今年度、地域支援センター「サポート JOYO」では不登校相談を中心に相談活動を行っています。その中で出会う子どもたちの中に、不登校の背景に『読み書き障害』を併せ持っている子どもたちがかなりの割合でいる実態があります。不登校児童生徒への『読み書き』の視点からのアセスメントもとても重要だと考えています。

『読み書き』のアセスメント相談も増えています。

地域支援センター「サポート JOYO」

不登校支援研修会

日時 平成24年11月7日(水) 午後3時00分～5時00分(受付 2:45～)

会場 本校会議室 定員 50名

テーマ 不登校へ理解と支援の実際 ～読み書き障害を併せ持つ事例をもとに～

助言者 松島 佳苗 氏 (作業療法士)

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学専攻

地域支援センター「サポート JOYO」巡回相談員

詳細掲載 <http://www.kyoto-be.ne.jp/jyouyou-s/saport-joyo/kensyu.html>

【体育大会】



「Fun&challenge~勇気100%力を合わせて~」を全校テーマに体育大会を行いました。病弱教育部では城陽オリンピック（障害走）と組み体操に取組ました。特に組み体操では、「絆」と「Let's try!」をテーマにして、小学部の児童と中学部の生徒に教師も加わり、合わせて13人による演技をしました。全20もの動きや技を取り入れて、一人技・二人技と増えていき最後には13人による変形扇を完成させ、何度も練習した成果が表れました。また通学高等部の生徒と協力して4人5脚で節水リレーもしました。各色がまとまったエール交換、力いっぱい綱引き、全力で頑張った色別リレー。そして病弱教育部が中心になって、整理体操と閉会式を立派にまとめあげました。午後の重心教育部との交流競技でもペアと協力して、気持ちを合わせ取組んでいました。日頃の活動の成果を発揮し、見事に結実させた1日でした。

